

平成29年度第2回山形県図書館協議会

日時：平成30年2月28日（水）13:00～15:00

場所：「遊学館」2階 チェリア学習室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 協 議

- (1) 平成29年度 山形県立図書館の利用拡大のための取組みについて
- (2) 山形県立図書館 平成30年度運営方針（案）について
- (3) その他

4 その他

5 閉 会

平成29年度第2回山形県図書館協議会出席者名簿

《委員》

(敬称略)

氏名	役職	備考
加藤 美穂子	一般社団法人子どもの読書サポートアシード代表理事	
佐藤 晶子	元月刊「SPOON」編集長	
佐藤 奈津紀	絵本作家	
新藤 透	山形県立米沢女子短期大学准教授	
鈴木 雅史	山形新聞社論説委員	
松田 道雄	尚綱学院大学 エクステンションセンター長	
渡邊 裕美	山形県学校図書館連絡協議会長 (山形大学附属中学校長)	

《主催者・事務局》

氏名	所属・職名
大場 秀樹	教育庁文化財・生涯学習課長
遠藤 智宏	同 課長補佐
大場 幹生	同 図書館活性化主査
柴田 小百合	同 図書館活性化主査(兼)生涯学習主査
鈴木 貴洋	同 主事
小関 正弘	県立図書館 館長
佐藤 雅人	同 副館長(兼)総務課長
安達 均	同 経営主幹(兼)経営課長
矢野 茂	同 企画主幹(兼)企画課長
東海林 理奈	同 総務課 総務主査
歌丸 琴子	同 経営課 調査相談専門員
早坂 幸子	同 経営課 管理主査
小関 智子	同 経営課 調査相談主査
豊田 一寿	同 企画課 運営企画専門員
高橋 淳子	同 企画課 運営企画主査
菊池 綾子	同 企画課 図書館活性化主査
高田 康一	同 企画課 資料整備主査

県図書館協議会席次表

(遊学館 2階 チェリア学習室)

松田 委員長

加藤 美穂子 委員

佐藤 晶子 委員

佐藤 奈津紀 委員

新藤 透 委員

鈴木 雅史 委員

渡邊 裕美 委員

報道
関係席

遠藤
補佐

大場
課長

小関
館長

佐藤
副館長

柴田
図書館活性化主査

大場
図書館活性化主査

安達
主幹

矢野
主幹

傍
聴席

鈴木
主事

歌丸
調査相談専門員

豊田
運営企画専門員

菊池
図書館活性化主査

東海林
総務主査

早坂
管理主査

高橋
運営企画主査

高田
資料整備主査

入 口

傍聴受付

平成29年度第2回山形県図書館協議会

配付資料一覧

(平成30年2月28日)

[協議事項]

- 1 平成29年度 山形県立図書館の利用拡大のための取組みについて
- 2 山形県立図書館 平成30年度運営方針(案)について

[参考資料]

- ◇山形県立図書館の大規模改修の概要について
- ◇「本の森通信」vol. 6 (平成29年12月発行)

平成 29 年度 山形県立図書館の利用拡大のための主な取組み

(※企画事業・展示等は別紙)

○図書館情報システムの再構築

より使いやすい県内各図書館横断検索及びICタグと連動した図書館情報システムが平成 29 年 3 月 14 日に稼働した。

○郷土関係貴重資料のデジタル化 (H28. 7～)

平成 28 年度に有識者から意見をいただいた貴重資料のうち「高橋由一 山形県、福島県、栃木県道路写生帖」について、県ホームページで公開を開始した。

○マルチメディア DAISY (デイジー) 図書の貸出 (H28. 6～)

目が不自由な方やページをめくるのが困難な方あるいは、活字が苦手な子どもでも読書を楽しめるように、音声と一緒に文字や画像が表示されるデジタル図書の展示コーナーを設置し、資料の貸出を開始した。併せて各カウンターに耳マークの表示パネルを配置した。

○図書館ボランティアの導入 (H27. 8～)

平成 27 年度からの継続登録 20 名、平成 29 年度の新規登録 7 名を加え計 27 名による図書館ボランティアが、書架整理、クリスマス・フェスタ等を手伝ってもらうとともに、平成 30 年 2 月の蔵書点検についても協力を得た。

○パスファインダーの作成 (H26. 4～)

特定のテーマについて、関連する資料や情報を探すための手順を簡単にまとめたパスファインダー 6 種類を作成した。(合計 42 種類)

○雑誌スポンサー制度 (雑誌受入・広告掲載) (H26. 4～)

企業と図書館の相互 PR 効果及び資料費確保のため、平成 29 年度は 9 社と 11 誌の契約をした。

スポンサー名	開始時期	雑誌名
(株)大風印刷	H26. 5～	週刊文春
(株)山形銀行	H26. 6～	プレジデント
(株)荘内銀行	H26. 8～	週刊新潮、モンテディオ山形ファンマガジン Rush
山形県すまい・まちづくり公社	H28. 4～	オレンジページ
(一社)子どもの読書サポートアシード	H28. 4～	MOE
東北労働金庫	H28. 5～	住まいの設計、日経マネー (※月刊分)
七日町商店街振興組合	H29. 4～	月刊山形 ZERO☆23
有限会社鹿野	H29. 4～	A E R A
蔵王ロープウェイ(株)	H29. 6～	関東・東北じゃらん

平成 29 年度 山形県立図書館企画事業等の実績

【企画事業】

1 「絵本とうたの会」の開催 (4/29)

こどもの読書週間において企画展示「のりものだいすき」を開催し、併せて高校生による合唱と読み聞かせの会を開催した。

2 公開講座『山形県図書館職員専門研修（絵本編）』（山形県図書館協会事業 12/3）

平成 28 年度に実施した「読み聞かせグループ交流・実演会」の継続事業として実施した。参加者は 県内図書館職員に加え、山形県内で読み聞かせ活動を行っているグループ・個人、一般参加者と多岐にわたり、絵本の専門的な講義に加え絵本 Café では参加者同士の交流の場となった。

3 「県立図書館クリスマスフェスタ 2017」(12/16)

「ハンドベル・ミニコンサートと絵本読み聞かせ」「図書館地下探検ツアー」「ラッピングブックの貸出」を実施した。

4 「本の森講座」の開催

県立図書館の公開講座として、第 1 回「山形城絵図『伊藤本』を読む」(11/11、生涯学習文化財団 4 施設合同企画共催) 第 2 回ビジネス支援図書拡大展示関連「あなたの『夢』応援します！(創業支援セミナー)」(2/24、日本政策金融公庫山形支店共催)、第 3 回「遊学館界限いまむかし」(3/16 予定)を開催した。

5 県関係職員のための新着図書案内

県のイントラの掲示版に読書啓発及び業務の参考となる新着図書案内を計 3 回掲載した。

【企画展示】

図書館内において企画展示(テーマに沿った図書の展示)を随時行った。今年度もより幅広い組織・団体との連携を重視した。

実施済み館内展示回数	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度 (1 月末現在)
期間限定展示	26 回	33 回	40 回	34 回	30 回
常設展示のテーマ入替	34 回	65 回	59 回	60 回	51 回
計	60 回	98 回	99 回	94 回	81 回

〔主な企画展示〕

◆こどもの読書週間企画展「のりもの だいすき！」(4/18～5/20) / ◆くらしの道しるべ第 11 回展示「健康づくり」(5/16～11/18) / ◆藤沢周平没後 20 年企画展 (5/23～7/2) / ◆南東北インターハイ展示 (7/4～8/27) / ◆「山形県図書館大賞」展示 (10/3～1/9) / ◆2016～2017 県内出版物展 (10/17～11/18) / ◆児童向け企画展「おてがみまっています」(11/21～12/16) / ◆くらしの道しるべ第 12 回展示「山形の『食』の魅力」(11/21～H30.5/19) / ◆企画展「犬と猫」(12/19～1/20) / ◆ビジネス支援図書拡大展示 (1/23～3/17) / ◆「映像の中の山形作家の世界」展示 (1/23～3/31)

1 県組織・事業連携展示

- ・砂防・災害対策課連携展示「自然災害を知る」(5/19～6/30、11/14～12/28)
- ・スポーツ保健課連携展示「家族で食を考える」(8/29～10/14)
- ・下水道課連携展示「第 57 回下水道の日連携展示」(9/8～10/14)
- ・若者支援・男女共同参画課連携展示
「天童アートロードプロジェクト『日本ブックデザイン賞おめでとう!』展示」(10/10～10/31)
「y a m a g a t a D I V E 若者まつり PR 展示」(11/1～11/12)
- ・危機管理課 復興・避難者支援室連携展示 「3.11 を忘れない」企画展示(2/27～3/31)
- ・村山保健所連携展示「自殺防止月間」(3/1～)

2 遊学館イベント連携展示

- ・「山形小説家(ライター)講座連携展示」(通年)
各月の講座の講師等の作家(16名)について、作品を展示(計12回)
- ・「作家トークショー桜庭一樹×辻村深月連携展示」(9/9～10/29)

3 地域連携展示

- ・「最上義光公談義」PR展示(城下町やまがた探検隊連携企画)(7/4～8/31))
- ・山形税務署連携「税を考える週間」展示(10/31～11/30)

4 出張展示

- ・「子育て応援団すこやか2017」出張展示(山形ビッグウイング)(6/24～25)
- ・小国町白い森芸術祭「移動図書館&ブックカフェ」出張展示・貸出(11/18)

【市町村図書館・学校図書館の支援と連携】

1 市町村図書館職員、高等学校司書、大学図書館職員等の研修機会を提供

- ・「図書分類法研修会」(6/19)
- ・置賜地区公共図書館(室)職員研修視察受入れ(9/7)
- ・「危機管理研修会」(10/16)
- ・西村山地区図書館職員研修会において「ビブリオバトル」について講話(12/15)

2 学校図書館部会(学校司書)や図書委員(生徒)等の研修機会を提供

- ・県高等学校教育研究会図書館部会最北支部学校司書研修受入れ(7/27)
- ・県高等学校教育研究会図書館部会置賜支部学校司書研修で講話(8/3)
- ・山形電波工業高校の図書委員研修受入れ(9/24)
- ・東北文教大学短期大学部フィールドワーク(調査)受入れ(11/14)

3 「山形県図書館大賞2017」

市町村図書館35館と高等学校及び大学図書館職員計382名による投票で、「心躍る！冒険・旅に出たくなる本～読むとワクワクする本～」として30作品を選定した。

図書館大賞作品は、県立図書館ほか、20の公共図書館・図書室、13の高校図書室、1大学の図書館で展示された。

山形県立図書館 平成 30 年度運営方針(案)

1 運営方針

「県立図書館の将来のあり方について」(平成 27 年 3 月策定。以下「あり方」という。)に掲げる基本理念『県民のあらゆる活動を支え、地域の課題解決に貢献する知の拠点』を目指し、「県立図書館活性化基本計画」(平成 28 年 3 月策定)も踏まえながら、次の 3 つの基本目標を掲げて各種施策を展開する。

- (1) 県内図書館の中核的役割の発揮(「あり方」基本目標 1)
- (2) 県民ニーズ実現のための積極的支援(同基本目標 2)
- (3) 県民本位の利用しやすい図書館づくり(同基本目標 3)

2 主な取組み

(1) 県立図書館の大規模改修の実施

- ① 教育庁文化財・生涯学習課が実施する県立図書館の大規模改修に伴う作業に積極的に参画し、本県における「知の拠点」として県民ニーズに適合した施設づくりに努める。
- ② 改修工事中もできる限り利用者サービスを継続し利用者の要望にこたえていくとともに、各種市町村支援についても継続実施していく。
- ③ リニューアル後の管理・運営方針を、サービスのあり方・開館時間の拡大を含め検討する。

(2) 県内図書館の中核的役割の発揮

① 資料整備の推進

県内公立図書館・図書室(以下、「県内公立図書館」という。)が整備しない専門性の高い資料についても積極的に収集に努め、県民の知的ニーズや情報ニーズに応える。さらに、大規模改修に合わせ多くの魅力ある資料を幅広く収集し充実した蔵書構成となるよう努める。

② 相互貸借、インターネット予約及び特別貸出の推進

県内公立図書館との相互貸借やインターネット予約について県民に周知するとともに、県内公立図書館や学校図書館等への一括特別貸出を促進し、県民の誰もが県立図書館の資料を利用できる環境づくりを進める。

③ 県内公立図書館の機能向上の支援

レファレンス等サービスの実施、資料整備、その他図書館運営に係る県内公立図書館からの要請に応じて、情報提供や助言を行い、そのサービス機能の向上を支援する。

④ 県内公立図書館との連携事業の推進

県内の図書館活動の広報や読書推進に係る事業について県内公立図書館と連携して実施する。

⑤ 県内公立図書館職員の研修支援

県内公立図書館職員を対象として、県内外の有識者による図書館機能の充実・図書館施設の円滑な運営等に資する研修を実施し、県内公立図書館職員の資質の向上を図る。

また、複数または単独の県内公立図書館が実施する研修等に講師を派遣するなどにより公立図書館職員の研修を支援する。

⑥ 学校図書館との連携の推進

学校図書館の活動支援及び児童・生徒の県立図書館利用促進に向けて学校図書館関係教職員・学校司書・図書委員の研修の受入れや共同の取組みを進める。

高等学校及び大学・短大等については直接支援し、小中学校については主に地元市町村図書館（室）に協力することを通じて支援を行う。

⑦ 調査相談（レファレンス）の充実

調査相談活動の充実を図るとともに、レファレンスツールの整備を進める。また、レファレンスの事例についてホームページ等で紹介するほか、国立国会図書館が運営する「レファレンス協同データベース」の活用についてもPRしていく。

⑧ 職員の資質の向上

県内図書館の中核的役割を担う職員の育成に資するため、外部の研修等への参加や内部研修機会の充実に努め、図書館全体としての支援能力と専門性の向上を図る。

(3) 県民ニーズ実現のための積極的支援

① 地域の課題解決や地域活性化への支援

医療、福祉・介護、教育、法律問題など県民の日常生活上の課題解決や地域づくり、防災など地域コミュニティの課題解決、あるいは郷土の歴史、食・観光などの情報提供、さらには地域活性化に資する活動について支援する。

当面、課題解決に資する資料の整備を行うとともに、民間団体及び行政機関の取組みやイベントと連携して関連資料を展示する企画展を開催する。

② 知的情報の発信

県民の知的ニーズや情報ニーズに応える講座や県民参加型のイベントを実施する。

また、「山形県図書館職員専門研修」を公開講座として実施する。

③ 読育の推進

子育て支援機関や教育機関などへの団体貸出を促進するとともに、各団体と連携し、出前図書館、読み聞かせ会その他の活動を行う。また、読み聞かせ活動・読書推進活動への支援を行う。

④ 地域政策課題解決の支援

行政機関等関係機関に地域政策課題解決のための図書資料の紹介や図書館活用を積極的にPRするとともに、ホームページその他の媒体等を通じて、地域政策

課題に関する資料の情報を関係機関に提供する。

⑤ 貴重資料デジタル化の推進

貴重資料等のデジタル化とホームページでの公開を進める。

⑥ 積極的な情報発信による認知度の向上

図書館活用をアピールする話題性のある企画を実施するとともに、県立図書館の活動をひろくPRするため、パブリシティの活用及びホームページやフェイスブックによる情報発信を積極的に行う。

また、図書館のイベント、新着図書、施策等に関するお知らせ、県内公立図書館の情報などを掲載した「本の森通信」を定期的に発行する。

⑦ ボランティアの受入れ等、図書館運営への県民参加の推進

引き続きボランティアの受入れを進めるとともに、図書館の利用案内、資料整理、配架、図書館イベントへの協力等の活動に加えて自主的な活動を促進する。

また、雑誌スポンサーの拡大を引き続き図る。

(4) 県民本位の利用しやすい図書館づくり

① 開館日の増加等

蔵書点検期間の短縮による開館日の増加について検討を進める。

また、祝日となる月曜日の開館について、大規模改修を見据え引き続き関係機関と検討を進める。

② 蔵書管理の充実による利便性の向上

平成 29 年 3 月から開始した新図書館情報システムと連携した I C タグによる蔵書管理システムについては、自動貸出機の PR を含めさらに円滑な運用を図る。

③ インターネット・複写サービスの利便性向上

大規模改修に合わせて、Wi-Fi 環境の導入に努める。また、カラー複写サービス用機器の整備について引き続き検討する。

④ 障害者、高齢者、乳幼児及び同伴者等へのサービスの向上

大型活字本や「マルチメディア DAISY」及び朗読CDの充実を図る。

また、大規模改修にあたっては、低学年児や乳児とその同伴者が気兼ねなく利用できる「子ども用エリア」の整備に努める。

⑤ 親しみやすく、発見のある図書館づくりの推進

親しみやすく気兼ねなく利用できる雰囲気づくりについて、施設の整備・運用と事業実施の両面で検討していく。

また、手作り感を生かしたポップの掲示やアイデアを活かした企画展示を実施するとともに、「本の森講座」、「山形県図書館職員専門研修」の公開などの多様な事業を実施するほか、大規模改修後を見据え、親しみやすく訪れる度に何か発見のある県立図書館の実現のための方策を検討する。

⑥ 県民活動や地域の活性化につながる取組みの展開

県民活動や地域の活性化支援につながる企画展示やイベントを開催するとともに、外部団体のイベントや企画等を図書館に呼び込み、その取組みやネットワークづくりを支援していく。

山形県立図書館の大規模改修の概要について

◇ 改修の基本的考え方

1階は人が集い誰もが気軽に利用できるエリア、2階は静かな環境で読書や学習ができるエリアとし、利用目的に応じた使い方ができる配置とする。

- ・ 図書館エリアの拡大
図書館部分面積を現3,390㎡から約5,000㎡に拡大する。
- ・ 開架冊数の拡大
現在の開架冊数約180,000冊から360,000冊の開架が可能となるよう拡大する。
- ・ 閲覧席数の拡大
カウンター席、グループ席、ソファ、スツール等、多様なスタイルの閲覧席を、現110席から約330席に拡大する。



エントランスホール イメージ

◇ 改修の概要

≪ 1階 ≫

- ・ エントランスホール
大型書架を設置し、本に囲まれたときめきのある空間で、新たな本との出会いを創出する。
- ・ ラウンジ/デッキエリア
庭園とつながるラウンジ/デッキエリアは、今までにない寛ぎの空間で四季の移ろいを感じながら読書を楽しめるエリアとする。
- ・ 子ども用エリア
お話の部屋や子ども用トイレ、授乳室等を一か所にまとめることで、子ども連れの方が気兼ねなく利用でき、子どもが本の楽しさを実感できるエリアとする。
- ・ カフェ・レストラン/ショップ
読書の合間にひとときの憩いの場となるよう、食事やコーヒーを提供するとともに物販を行う。
- ・ 縣人文庫
関連する専門分野の書架に分散配置し、本県出身の偉人の功績を多くの方に見ていただく。

≪ 2階 ≫

- ・ サイレントエリア
館内で最も静かな環境とし、集中して読書や学習ができる空間とする。
- ・ 平成30年度～31年度：改修工事（開館しながらの工事を想定）
・ 平成31年度中：リニューアルオープン

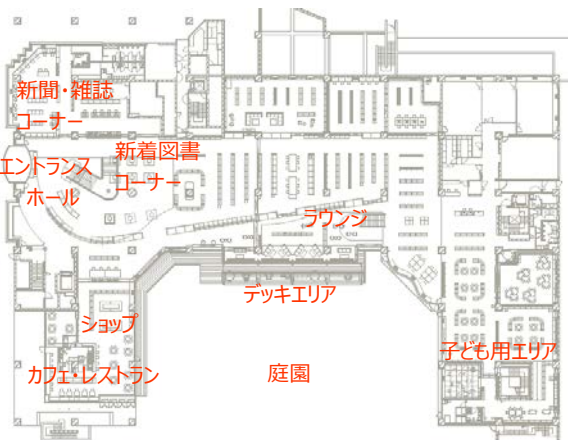


ラウンジ イメージ

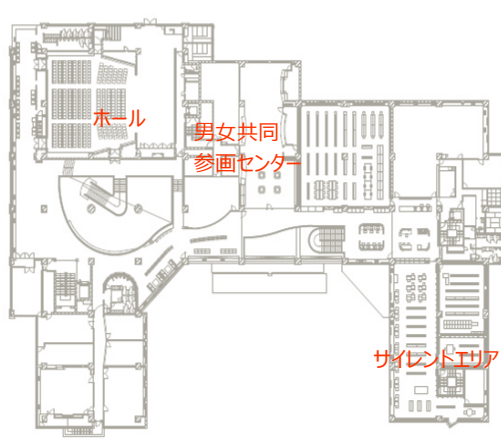


カフェ・レストラン/ショップ イメージ

1階平面図



2階平面図



3階平面図



※今後の精査により内容が変更になることがあります。

本の森

Yamagata Pref Library Newsletter
Vol.6 (2017.12)

通信

山形県図書館大賞 2017 大賞作品発表！



心躍る！冒険・旅に出たくなる本 ～読むとワクワクする本～

今年で3回目を迎える「山形県図書館大賞」。県内35市町村の公共図書館(室)、高等学校図書館の職員に加え、新たに大学図書館の職員の方に参加していただき、過去最多の**382名**の方からおすすめ本の投票をいただきました！

1次投票で票を獲得した作品は**437作品**！その中から2次投票を経て多くの票を集めた30作品を「山形県図書館大賞」として決定しました☆
日本の小説に限らず、海外の作品、児童書、絵本、写真集など様々なジャンルの本が選ばれ、素敵な旅・冒険の世界を楽しめる本が勢ぞろい♪
とても楽しい結果となりました☆

県立図書館では10月3日から1月9日まで図書館大賞の展示を行っています。

さらに、県内公共図書館(室)、高等学校図書館、大学図書館でも図書館大賞の展示を実施していただきました。

どれも面白い本ばかりですので、みなさんもぜひ読んでみてください！

山形県図書館大賞2017		
心躍る！冒険・旅に出たくなる本～読むとワクワクする本～		
※日本の作品・著者五十音順+外国の作品著者五十音順+著者アルファベット順		
No	書名	著者
1	県庁おもてなし課	有川 浩
2	下駄の上の卵	井上 ひさし
3	精霊の守り人	上橋 菜穂子
4	十二国記	小野 不由美
5	夜のピクニック	恩田 陸
6	魔女の宅急便	角野 栄子
7	深夜特急	沢木 耕太郎
8	死ぬまでに行きたい世界の絶景	詩歩
9	バムとゲロのそらのたび	島田 ゆか
10	旅屋おかえり	原田 マハ
11	こんとあき	林 明子
12	海賊とよばれた男	百田 尚樹
13	山女日記	湊 かなえ
14	銀河鉄道の夜	宮沢 賢治
15	ブレイブ・ストーリー	宮部 みゆき
16	かもめ食堂	群 ようこ
17	マップス新・世界図鑑	アレクサンドラ ミゼリンスカ
18	日本奥地紀行	イザベラ・バード
19	愛蔵版 星の王子さま	サン=テグジュペリ
20	十五少年漂流記	ジュール・ヴェルヌ
21	海底二万里	ジュール・ヴェルヌ
22	アルケミスト-夢を旅した少年-	パウロ・コエーリョ
23	はてしない物語	ミヒヤエル・エンデ
24	ふしぎの国のアリス	ルイス・キャロル
25	エルマーのぼうげん	ルース・スタイルス・ガネット
26	ナルニア国物語	C.S. ルイス
27	ハリーポッターと賢者の石	J.K.ローリング
28	ホビットの冒険	J.R.R.トールキン
29	プラタモリ	NHK「ブ」ラモリ」制作班
30	365日日本一周絶景の旅	TABIPRO



県立図書館の
展示風景です！



こどもの読書週間企画展
「のりもの だいすき！」
「絵本とうたの会」【4月～5月】
 のりものの絵本がいっぱい展示されました。
 山形西高合唱団のみなさまによる合唱と絵本の読み聞かせも好評でした♪



「藤沢周平没後20年企画展」
【5月～7月】
 自筆原稿等の大変貴重な資料も併せて展示しました。
 とても好評でしたので、場所を変えて延長展示もしました。



企画展示&イベント目白押し！

一部をご紹介します♪



「南東北インターハイ展示」
【7月～8月】
 スポーツに関する本の他、大会入賞メダルや記念品、応援コメントを展示しました。
 山形県高校生活動推進委員長をお招きして、応援コメントお披露目イベントも開催しました。



「県スポーツ保健課連携展示
『家族で食を考える』」
「県下水道課連携展示
『第57回下水道の日連携展示』」
【8月～10月】
 県の機関との連携展示です。
 関係する本の他、年代ごとの給食を再現した食品サンプルや、下水の汚泥を利用したレンガ等も展示しました。



児童書のご寄贈を いただきました♪

女性の地位向上のために活動する奉仕団体「国際ソ
ンタ山形ソントクラブ」様より、児童図書41冊のご
寄贈をいただき、7月に贈呈式を行いました。

ご寄贈いただいた本は世界の子どもたちの様子が活
き活きと紹介されている「世界のともだち全36冊
(偕成社)」、子どもに大人気の大型絵本5冊です。

贈呈式の後には、児童書コーナー付近にご寄贈いた
だいた本の展示を行い、大勢の方に手に取っていただ
きました。

「子どもたちのために役立ててください」との思い
を大切に受け止め、今回ご寄贈いただいた本やその他
たくさん本を子どもたちに届けることができるよう、
サービスに努めてまいります。

「国際ソント山形ソントクラブ」の皆様、本当にあ
りがとうございました。



贈呈式の様子です♪



～展示風景～



～大きな文字の青い鳥文庫～

子どもに人気の青い鳥文庫が大きな文字になりました。

県立図書館では「大きな文字の青い鳥文庫」を118タイトル220冊を購入し、
貸出を開始しました。

文字の書体は読みやすさに配慮したゴシック体で、文字の大きさは通常の約2.5
倍！

視力の弱いお子さんや読書が苦手なお子さんにも、読書の楽しさを味わって
いただけたいです。もちろん、どなたでも楽しめます♪

2階児童書コーナーにありますので、一度お手にとってみてください。



市町村立図書館（室） 情報コーナー

県内市町村立図書館（室）の情報を
お知らせするコーナーです。
第6号では2つの情報をお届けします♪



山形県図書館大賞2017 県内図書館（室）で展示！

山形県図書館大賞2017の展示が、
各県内図書館（室）で開催されまし
た！ 展示風景をご紹介します！



県内初の「認定司書」誕生！

新庄市立図書館の館長補佐、郷野目香織司書が**山形県初**
の認定司書に認定されました！
おめでとうございます！

・？認定司書とは？

図書館の実務経験や実践的知識・技能を継続的に修得した者を評価し、各地
域の図書館経営の中核を担う司書として日本図書館協会から公的に認定
された司書のことです。（詳しくは「日本図書館協会」のHPをご覧ください。）



マイクロフィルムリーダー更新！

県立図書館2階にある「マイクロフィルムリーダー」をご存知です
か？マイクロフィルムリーダーとは、過去の新聞や上杉文書等の資
料が収録された「マイクロフィルム」を閲覧する機械です。

この度、2台あるマイクロフィルムリーダーのうち、1台を更新しまし
た！新しいマイクロフィルムリーダーはパソコンの画面でマイクロフ
ィルムを見ることができ、これまでより鮮明に複写できるようになりま
した。

過去の新聞や上杉文書等の調べものに、ぜひ新しいマイクロフ
ィルムリーダーをご活用ください。

ご利用の際は2階調査カウンターまでお声掛けください。



図書館で学ぼう

県立図書館では、職員の知識を高める研修、高校の図書委員研修や大学のインターンシップ、県内各図書館の視察受け入れなど、よりよいサービスを提供するため、図書館業務を知ってもらうため、研修を行っています。

今回はそのうちの一部をご紹介します。

【分類法基礎講座 6月19日】

図書館にとって基本中の基本「分類法」を山形県立米沢女子短期大学国語国文学科新藤透准教授に教えていただきました。

図書館に新任した方からはもちろん、ベテランの図書館員の方からも「基礎を改めて学びなおすことができてよかった」と大変好評な研修でした♪



？分類法とは？

数字等を使った分類記号を用いて資料をジャンルごとに分けることで、読みたい本を探しやすくするためのものです。

県立図書館をはじめ日本の図書館のほとんどでは「日本十進分類法（NDC）」を使用しています。

【危機管理研修 10月16日】

群馬県草津町温泉図書館司書中沢孝之先生を講師にお招きし、図書館での危機管理を先生の講義やグループワークを通し研修しました。

「図書館でこういうことが起きたらどうする？どう行動する？誰がどの役割を担う？」等、現場を意識しながら研修することができました。



県立図書館職員を対象に、職員のスキルアップ研修も行っています。

荘内銀行接遇インストラクター須佐恵美様をお招きし、5月22日に「接遇研修」を行いました。図書館に来館した方や電話でお問い合わせいただいた方が気持ちよくサービスを受けることができるような言葉遣いや対応の仕方を教えていただきました。

さらに、県立博物館専門嘱託野口一雄先生をお招きし、8月21日に「馬見ヶ崎川今昔と三島通庸の山形市市街化事業」、「北海道開拓とハッカ」の2つのテーマを講義いただきました。

図書館近くの馬見ヶ崎川の昔の姿、北海道のハッカのルーツが山形だったこと等・・・驚きばかりの研修でした。

あなたの知らない図書館の世界

vol. 6 リーディングトラッカーって…？

県立図書館では、読書のバリアフリー化の拡大に取り組んでいるところです。「本の森通信vol.4」では「マルチメディアDAISY(デイジー)図書」と「楽らく文庫」をご紹介しました。今回は「**リーディングトラッカー**」をみなさんにご紹介します。

みなさんは「リーディングトラッカー」をご存知でしたか？

「リーディングトラッカー」とは、読書補助具の一つで、前後の行を隠し、読みたい行だけに焦点を当てながら読み進めることができるものです。

視覚障がいのある人の読書をサポートする道具であるとともに、集中して読書をしたい人などにも便利な道具です。全部で8色あり、自分にあった読みやすい色を選ぶことができます。

館内ならどなたでも利用できます。各カウンターにありますので、利用したい方は各カウンターにお声掛けください♪

みなさまが更に快適に読書を楽しめるようサービスに努めてまいります！



●県立図書館の主な予定 (12月～2月)

- 「山形小説家講座 講師著作展示」
12月 荻原浩
1月 三浦しをん
2月 村山由佳 (ゲスト：千早茜)
- 企画展示「犬と猫」
12月19日～1月20日
- 「ビジネス支援図書拡大展示」
1月23日～3月17日
- 「本の森講座」(ビジネス支援) 2月24日
そのほか、「県立図書館職員おススメ本ぴっくあっぷブック」「レシピ本展示」「くらしの道しるべ」「1階調査カウンター前展示」「2階児童コーナー展示」などなど・・・定期的に展示替えをしています！

【編集後記】

お待たせいたしました！第6号発行です。図書館ではたくさんの企画・イベントが開催されました。

これからも、企画・展示が盛りだくさんです。みなさん楽しみにしててくださいね♪

Facebookでも随時情報をお知らせしていきますのでチェックしてみてください！

FacebookのQRコード
はこちら！



お問い合わせは…
山形県立図書館企画課
運営企画担当へ！
Tel.023-631-2523
✉ ytosh@pref.yamagata.jp

事業概要

1. プログラム名 : 日本昔話の旅シリーズ
2. 展 開 法 : 各都道府県に伝わる昔話を一話マルチメディア DAISY 化し、全国の学校や公共図書館などの団体に配布します。
3. 図書館への依頼内容 :
 - ①地元都道府県に伝わる昔話の選定(10 分以内の音訳作品)
 - ②文字データの提供(ワード、テキストなどのデータ。文章は標準語と方言)
 - ③挿絵の提供(横長で全ての絵が同じサイズ。横 1,000 ピクセル以上の画像データ)
 - ④地元の言葉での音訳の提供録音はパソコン録音、PCM44.1KHZ、wav 形式、モノラル。
 - ⑤上記、著作権に関する許諾。
4. 著 作 権 : 文章、絵の製作者、話者に所属します。財団による配布について許諾をお願いします。図書館は協力団体として配布資料等にお名前を記載します。
5. 当財団の役割 :
 - ・マルチメディア DAISY 図書に編集し、全国の希望団体へ配布します。
(平成 30 年度は約 1,200 か所の予定)
 - ・著者、話者、挿絵の作者に対し、各 5,000 円の図書券を用意します。
6. 配布時期 : 平成 30 年 5 月(音源、絵などを平成 29 年 11 月末までに財団へお送り下さい)また、来年度以降にご協力頂ける場合は、その旨ご連絡下さい。

* 協力の可否をお知らせください。

これまでに完成している作品 (20 作品)

- ①北海道「山とばしにあったポロモイ」
- ②岩手「おさつの投げた大岩」
- ③茨城「額田のたっさい」
- ④埼玉「見沼の笛」
- ⑤山梨「鬼の千里靴」
- ⑥岐阜「養老の泉」
- ⑦三重「ハチの恩返し」
- ⑧奈良「わらしべ長者」
- ⑨和歌山「かみながひめ」
- ⑩鳥取「因幡の白うさぎ」
- ⑪岡山「ももたろう」
- ⑫山口「まあだまだわからん」
- ⑬徳島「青木藤太郎」
- ⑭愛媛「道後温泉の鷲石と玉の石」
- ⑮高知「又吾とえんこう」
- ⑯福岡「えつとぼうさま」
- ⑰佐賀「おとわ観音由来 大歳火」
- ⑱長崎「竜女 おすわ」
- ⑲熊本「てんぐのかくれみの」
- ⑳沖縄「クスクエーのおはなし」

2017 年製作内諾(10 都府県・平成 29 年 6 月 13 日現在)

- ㉑東京
- ㉒新潟
- ㉓長野
- ㉔愛知
- ㉕滋賀
- ㉖大阪
- ㉗島根
- ㉘大分
- ㉙宮崎
- ㉚鹿児島

公益財団法人伊藤忠記念財団
電子図書普及事業部
担当 矢部 剛

〒107-0061 東京都港区北青山 2-5-1

電話: 03 (3497) 2652

FAX: 03 (3470) 3517

Email: bf-book@itc-zaidan.or.jp

「わいわい文庫」の日本昔話の旅が 日本図書館協会 後援事業になりました

伊藤忠記念財団は、平成 23 年より障害のある子どもたちへの読書支援を目指し、全国の特別支援学校や公共図書館を主な対象に、電子化(マルチメディア DAISY 規格)した児童書を「わいわい文庫」と名づけ、無償で配布する事業を実施しています。

以前、貴図書館を訪問し、「日本昔話の旅」につきましてご協力をお願いをさせて頂きましたが、改めてご回答をお願い致したく本状を差し上げました。

皆様のご協力の元、各地から一話ずつ昔話を電子化し、全国に発信するプログラムです。ぜひお力添えを頂けますようお願い申し上げます。

日本昔話の旅の目的

- * 日本各地に様々な話が伝わっていること、様々な表現方法があることを理解する。
- * 自分の住む土地への帰属意識を高め、郷土愛を育む。
- * 障害の有無に関わらず、誰にでもご覧頂くことができる作品を提供することによって、障害者への理解を深める

企画のきっかけは、受領先からの声

- * 子どもたちが昔話に接する機会が減少している。
- * 地域色豊かな作品があれば、その地域への興味関心が深まり、学習が進む。

「日本昔話の旅シリーズ」に期待しています

公益財団法人 日本図書館協会
障害者サービス委員会委員長 佐藤聖一 氏(埼玉県立久喜図書館)

マルチメディアデージー(DAISY)は、発達障害を含む様々な障害者が使えるように工夫されたアクセシブルな電子書籍です。視覚障害・発達障害・肢体障害・高齢等の理由で印刷された資料の利用が困難な人たちに読書の喜びを与えられる画期的な資料です。

日本ではボランティアにより小中学校の教科書が製作されていますが、その他は僅かしかありません。マルチメディアデージーは大変優れた資料ですが、まだまだ当事者や学校関係者・図書館関係者に知られていないのが現状です。

伊藤忠記念財団では「わいわい文庫シリーズ」のマルチメディア DAISY を製作され、全国の特別支援学校や図書館等に無料で配布する事業をされてきました。これにより、マルチメディアデージーの普及啓発に多大な貢献をしています。

「日本昔話の旅」は全国の昔話や民話のマルチメディアデージーを収録したもので、県立図書館と伊藤忠記念財団とが連携により製作するものです。多くの障害者・児に全国各地のお話を楽しんでもらうことができます。

今後も伊藤忠記念財団には、これらの事業を通じてマルチメディアデージーの普及・啓発活動にご尽力くださることを切に期待しています。